

第 160 スタジオ夜話 番外編

「サウンドドラマの制作技法」

☆はじめに

8月26日ネパールで大規模土石流が発生、原因は氷河崩落。フランス、スペイン、アメリカでは大規模な山火事が起こり前例の無い大惨事となっています。日本でも豪雨による大規模洪水、その一方でダムが枯渇するといったことが起こっています。以前地球が大変なことになってしまうドラマや映画が数多くありました。今でもあります。内容は様々です。ウイルス感染を題材にしたものや地球外生物の来襲、地殻変動で日本が沈没、未知のすい星が地球と衝突、等々。もう地球は滅茶苦茶です。しかしよく考えてください。豪雨による大洪水など、もはや一地方の話ではなく明日のわが身におこる事象です。SF映画やディザスター・フィクション、DF (Disaster) 映画 (地震、津波、噴火、異常気象など) は今や SNF, DNF (ノンフィクション) となりつつあります。目先の経済や生活も大切ではありますがサバイバルできないと生きて行けない世界がすぐそこにあるのです。まさに今そこにある危機なのです。教育問題に話を移せば、危ないことはやらせない残酷なものは見せない子供の教育。お魚の御造り調理は下ろすところからみせますが、牛肉の食肉加工卸調理では見せません。これはサバイバルできない教育環境です。今の大人も子供たちと変わりません。醜いものは見ないに越したことはないのですが・・・？です。筆者を含め読者皆様もサバイバルが必要な時 (必ず来ます大震災や自然災害) にそなえることも大切だと思います。長くなりました。さて今回のスタジオ夜話、予告の通り前回の続きです。脚本について前回お話出来なかったことをまとめてみました。お付き合いよろしくお願いいたします。

☆「サウンドドラマの制作技法」総集編

総集編は前書きを含めて今回が3回目です。前回はサウンドドラマの脚本のお話でした。今回はその続きです。前々回でもお話しましたがこうした技法や作り方書き方などの所謂 HOW- TO ものは教室やセミナーなども含めて全てその作法を教えているものです。つまりいくら作法を習得しても秀逸な作品は出来ないということ、それは創り手の才能に全て依存しているものだからです。酷い言い方をすれば才能の無いひとには無意味な学習？と言い切ることができます。筆者も経験から自身は才能が無いと確信しています。しかし長年の経験から作法をお話することはできます。スタジオ夜話の「サウンドドラマ制作シリーズ」はその作法のお話をするものです。

☆サウンドドラマ (ラジオドラマ) の脚本 5 「ストーリーとプロット」

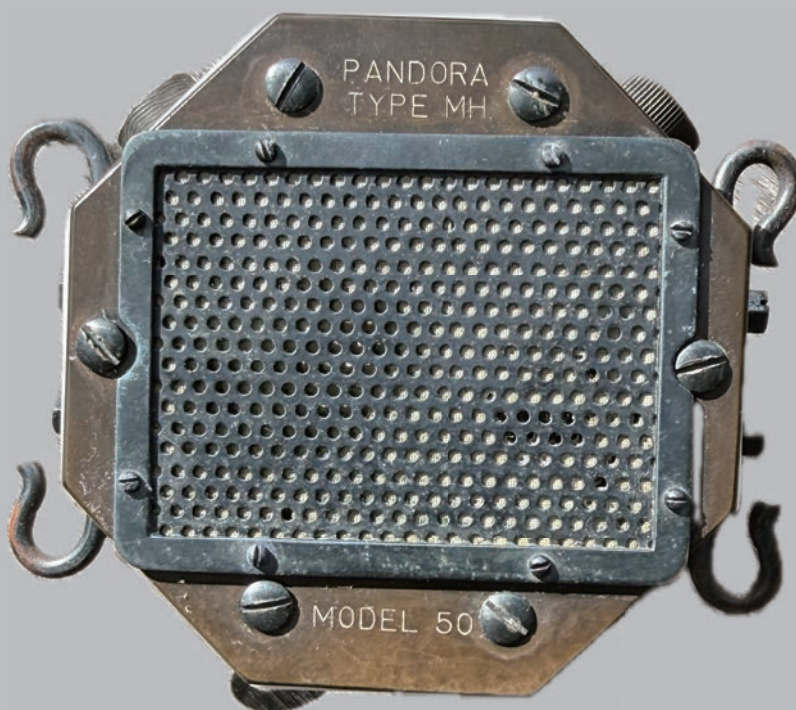
小説であれ脚本であれその中身は「お話」です。どんなお話でもそこには作者が伝えたいテーマ (主題) があります。鑑賞者は「お話」の中からその主題を感じ感動や共鳴を得るのです。その「お話」が感動しないものであればそれは愚作といえます。小説も脚本もそれ自体は印刷媒体で提供されます。その時点では互いに変わるところはありません。書式が違うだけです。またプロット (物語の展開の仕方: 運び、ハコビ) もその中では自由です。前回お話したシュチエーション設定も登場人物の数も制限はありません。しかしこれがサウンドドラマ (ラジオドラマ) の制作手引書となる場合は手を加える必要があります。もとが小説の場合はサウンドドラマ (ラジオドラマ) 用の脚本にし

なければなりません。この作業を脚色などと言っています。またオリジナルが脚本の場合でも舞台の脚本あるいは映画のシナリオかもしれません。この場合もサウンドドラマ (ラジオドラマ) 用の脚本にしなければなりません。そしてそこには作法があります。前回お話した。シュチエーション設定や登場人物などの制約のことです。この制約を意識してサウンドドラマ (ラジオドラマ) 用の脚本にするのです。ここで作品の形式について少しお話しします。たとえば「お話: 物語」自体のスタイル? 形式? のお話です。いくつかの短い短編が集まりひとつの作品 (一冊の本など) を構成している物: オムニバス形式などはそのままではサウンドドラマ (ラジオドラマ) 用の脚本としては不向きです。この場合短編一つを一つのサウンドドラマ (ラジオドラマ) として創り、シリーズで完結させるなどの工夫が必要です。また主人公や基本設定が同じビカレスク形式も基本的にシリーズ化して完結させることで成り立ちます。映画グランドホテル形式はこのどちらにも当てはまる形式? ですがサウンドドラマ (ラジオドラマ) としてはシュチエーション設定での音が一色でさみしくなります。よほど内容が優れていないとサウンドドラマ (ラジオドラマ) としては不向きな? 形式です。サウンドドラマ (ラジオドラマ) プロットは音を意識して物語を伝えることを前提に構成するものであることを忘れてはなりません。

☆サウンドドラマ (ラジオドラマ) の脚本 6 「脚本の書式?」

昔ニュースなどはアナウンサーが読みやすいスタイル、200字詰め原稿用紙に書かれていました。ラジオドラマの台本も様々な改編を繰り返し発展して現在に至って

ちょこっと雑学



友人が、珍しいマイクロフォンがあるのでということで紹介します。

PANDORA TYP MH MODERU 50

初期のラジオ放送では、ライツ（Reisz）型カーボンマイクが広く使われていました。1930年、某放送局、仙台局職員マルモ氏、ホシ氏がイギリスの雑誌の記事をもとに高音質で雑音の少ないライツ型マイクロフォンを考案。二人の頭文字をとってMH型と命名。（ここまでは友人が調べたエピソード）ライツ型マイクロフォン（ライツマイク）とは、1924年にドイツのオルゲン・ライツ博士によって考案された、大理石の容器に炭素粒（カーボン）を詰めた歴史的な炭素マイクロフォン（カーボンマイク）です。特徴と歴史構造：大理石の窪みにカーボン粒を充填し、薄いマイカ（雲母）などを振動板として使用しています。黎明期の放送：ラジオ放送の黎明期（昭和初期など）に標準的な放送用送話器として広く使われました。希少性：当時は非常に高価な機材で、日本国内でも愛興電機（アイワの前身）などが製造・使用していました。現在では貴重なアンティーク・歴史資料として放送博物館等に所蔵されています。とAIが応えてくれました。「も」

ます。では現在の台本の書式スタイルは？？各局、各制作チームなど最終的には独自スタイルです。ニュースのアナウンサーがプロンプターを使う時代、放送作家協会やNHKでは今だに見開きの台本を使っています。悪いわけではありません。時々写真などで声優さんがそうした台本を持ちマイクの前で演技している様子を観ます。筆者には信じられない光景です。芝居でも映画、TVでも出演者が台本を手持ちで演技しているのでしょうか？否です。出演者は台詞を覚えて理解し演技するものです。そのための台本は必要です。出演者の皆さんには見開きのNHKや放送作家協会スタイルの台本でも良いかと思います。また脚本作家さんも同様でかまいません。これが基本です。しかし制作者（スタッフ）の台本はちがいます。制作者にとっての台本はサウンドドラマ（ラジオドラマ）制作用の設計図なのです。この台本には様々な制作用の大量のメモが書き加えられます。筆者はこの書き加えられたサウンドドラマ（ラジオドラマ）用の台本をscore（スコア）と呼んでいます。score（スコア）：楽譜です。drama-score：サウンドドラマ（ラジオドラマ）用の台本です。特に演出家にはFull-score（指揮者用）が必要です。効果さんは効果さん用のpart-scoreといった感じです。scoreの良い点は全ての音が時間軸上に展開しているところです。またテンポや音の高低、長さ、間、など様々な要素を記載できることです。実際現代音楽の楽譜などには様々なメモが記載されています。脚本は制作用の原点となるもので文字媒体のもので。サウンドドラマ（ラジオドラマ）制作用の脚本から実際の制作に使う設計図、台本（出演者用など）と制作スタッフ用score（スコア）が実作業には不可欠です。脚本＝台本＝設計図ではありません。すべての書式は自由です。注意：日本では

普通文字は右から左へと進みます。一方楽譜の進行は左から右です。音声の編集なども全てが左から右へと進みます。台詞などの文章だけは逆です。筆者は台詞は歌詞付きのvocal-part譜として扱いキッカケ台詞のみ記載（横書き）する方法をとっています。パソコンの普及に伴って今や横書き台本も存在します。なれの問題です。工夫して独自の方法を発見してください。書式に絶対はありません。

☆サウンドドラマ（ラジオドラマ）の脚本 7「音で表現するドラマ脚本」

前回の脚本4「その他」でお話したことはとても重要なことです。物語を音で表現するための脚本は単に物語の出来不出来だけの問題に留まりません。世の名作も脚色が悪いと駄作になってしまい原作者に失礼極まりません。オリジナルの脚本も同様です。音を知らずしてサウンドドラマ（ラジオドラマ）の脚本は書けません。様々な音、その音源や環境、また聴かれ方を知ることによって音創りが可能となるのです。脚本家はその音創りの基本を知らなければなりません。またサウンドドラマ（ラジオドラマ）での音創りはリアルな音を目指すのではなく、リアリティーある音創りを目指す原則を大切にすべきです。このリアリティーある音は脚本を書く上で重要で「洞窟」と言えば残響という発想で音を捉える作家には・・・です。10畳のリビングに残響はどの位、とか考えることが

必要なのです。経験から残響の少ないスタジオでダミーヘッドマイクフォンを使い収録した時リビング設定での台詞や効果音は最低でした。反射性の衝立などを持ち込み残響を付加することで10畳のリビングが実現するのです。ロケの方が早いのです。リアリティーある音創りを目指す脚本家はこうした事実を考慮して脚本を執筆することが重要です。小説家以上の力量、あるいは才能が求められます。ト書きや音指定、シュチュエーション設定の時には特に注意が必要です。「ト書き：～主人公一歩前に強く踏み出す。強く踏み出す音」は最低の脚本です。

☆次回は

今回も脚本やその関連についてのお話をしました。次回は脚本のお話2回分を表にまとめます。この総集編はプロとして最低限必要な作法のお話をしています。次回もよろしくお願いいたします。残暑まだまだ続きます。自然災害サバイバルあるかもしれません。読者皆様のご健康とご多幸ををお祈りいたします。

— 森田 雅行 —

ハイビジョン伝送・災害・報道・海外派遣

SATCUBE

「驚愕の超小型平面アンテナ！」

スタンダードなSCPCでのSNGモデルに加え2020年7月に新しくスタートしたスカパーJ SAT社の新サービス「Sat-Q」モデルもラインナップ。お客様の運用にマッチした利用が簡単にできます。放送などのHD映像伝送・災害通信・海外通信・企業のBCP向けなど幅広く利用可能です。

＜SATCUBEアンテナの特長＞

- 47cm x 30cm x 5.5cmビジネスバッグに入ります！
- SCPCモデル・Sat-Qモデル・各種あり
- 災害/報道/海外派遣映像音声伝送インターネット接続/ハイビジョン伝送可能
- わずか1分で通信可能組立不要・工具不要
- 衛星捕捉は内蔵ディスプレイのアシスト機能で素早く簡単
- 航空機持込可能バッテリーで運用可（約3時間運用可能）
- 運用中のバッテリー交換可（ホットスワップ対応）
- モバイル中継装置（TVU・Live U・スマテレ等）と連携可

Communications k.k. エーティココミュニケーションズ株式会社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14
TEL: 03-5772-9125 http://www.bizsat.jp